

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護援助論Ⅱ	NSP33_008	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
渡邊 美樹	303	m.watanabe			
授業の目的・概要	在宅看護に特徴的な看護過程が実施できる基礎的な知識と技術を修得することを目的とする。具体的には、模擬事例における在宅看護過程の展開を行い、対象者の把握から看護の実施までを演習を通して体験する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	在宅療養者や家族のその人らしい生活ができるように、看護の力で何ができるか。積極的に事例演習に取り組むことで、看護実践への期待を膨らませてほしい。				
教科書	・ナンシング・グラフィ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア /編:臺由佳 他 /メディカ出版 /2022 ・ナンシング・グラフィ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術 /編:臺由佳 他 /メディカ出版 /2022 [2冊指定]				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅療養支援における社会資源について説明できる。	NS(1)~(4)			
②	対象特性に応じた生活・介護ニーズ、医療ニーズのアセスメントを説明できる。	NS(1)~(4)			
③	在宅における療養者と家族が安心・安全に療養を継続するための看護計画を立案できる。	NS(1)~(4)			
④	立案した看護計画を実施し、在宅看護過程の展開を評価することができる。	NS(1)~(4)			
⑤	地域における看護活動への興味を深め、臨地実習への意欲を高めることができる。	NS(1)~(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1・2	在宅療養支援を支える社会資源を学ぶ	講義・GW	社会資源についてまとめる。	2	
3・4	在宅看護過程の展開方法を学ぶ (在宅看護過程の展開の実際)	講義・GW	在宅看護過程の方法を体験する。	2	
5・6	事例を用いた在宅看護過程演習 ① 情報の整理とアセスメント	講義・GW	事例について病態や治療・看護について調べる。	2	
7・8	事例を用いた在宅看護過程演習 ② 看護課題の抽出・看護目標の設定、看護計画立案	講義・GW	在宅看護過程に必要な知識をまとめる。	2	
9・10	療養の場の移行に沿った看護過程演習 ① 情報の整理、調べ学習	GW	事例について病態や治療・看護に就いて調べる。	2	
11・12	療養の場の移行に沿った看護過程演習 ② 看護課題の抽出・看護目標の設定、看護計画立案	GW	事例について必要な知識をまとめる。	2	
13・14	療養の場の移行に沿った看護過程演習 ③ グループ学習の成果発表	GW・講義	グループ学習の成果から学びを得てまとめる。	2	
15	在宅療養者や家族が生活する地域を知る方法を学ぶ まとめ	講義	在宅看護関連の授業での学びをまとめる。	1	
試	レポート試験 達成度評価・評価ポイント参照				

【専門教育科目/看護の展開/在宅看護学】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	0	50	30	10	10	100
	思考・推論・創造する力	0	50	30	10	10	100
	協調性・リーダーシップ	0	20	5	5	0	30
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	在宅看護過程の演習を通して学んだ在宅看護療養支援の必要性を考察し最終レポートを作成する。					コメントを入れて返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	模擬事例において立案された看護計画を実演により発表する。他者の発表からの気づきや学びを学生同士で意見交換し共有し合う。					成果発表について講評を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	事例課題への取り組みを教員と確認しながら進めていく。課題に取り組む中で、自己の課題を明確にして、主体的に演習に参加する。					コメントを入れて返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	全日程の出席を前提とする。理由のない欠席は授業への取り組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する。					欠席が続く、提出物が遅れるなどが生じた場合は個別に指導を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	担当教員は、病院の看護師として2年、行政保健師として8年、訪問看護師として2年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	看護師や保健師としての経験を基に、地域在宅で生活されている療養者やその家族等の具体的な事例を交えながら講義を進め、実践をイメージしながら知識と技術の修得を目指す。						
その他	・授業中の私語、他学生の迷惑になる行動は禁止します。教員に質問がある場合は、手を挙げて意思表示し質問すること。						